



第185号



2024/9

暑さのピークを越えたようで、朝は少し涼しくなったように感じますね。それでも日中は30℃を超える日が続いており、まだまだ熱中症に注意が必要な暑さです。夏の疲れも出やすい時期なので、体調管理には気を付けて下さい。

マイコプラズマ肺炎



が流行しています

症状

- ◆発熱、だるさ、咳、頭痛など風邪に似た症状。
- ◆咳は長引く傾向があり、3～4週間続く事も。

予防

感染している人の咳による飛沫を吸い込んだり、感染者との接触により感染するため

- ◆石けん・流水での手洗い。
- ◆マスクの着用などの咳エチケットが有効。



「マイコプラズマ」という細菌による感染症です。

秋～冬に流行する傾向がありますが、今年は夏に感染者が増加しています！！



- 子供や若年層に多いとされています。
- 風邪のような軽症で治まる場合も多いです。
- 免疫力が落ちていると、重症化することもある！
- 潜伏期間（感染から症状が出るまでの期間）が2～3週間と長い。

CPAP使用中の方が感染したら・・・

CPAPの風による刺激で咳が出てしまう事もあります。様子を見ながらCPAPを使用して下さい。症状が落ち着いたら、しっかりとCPAPを使用しましょう。



手足口病



- ◆夏に子供の間での流行が一般的です。
 - ◆手や足、口の中などに水泡ができる。
 - ◆コクサッキーウイルスなどが原因です。
- 過去10年の同時期と比較して、今年は10倍の感染が報告されています。

新型コロナウイルス

- ◆昨年5月から感染症法の5類となりました。
- ◆5類移行により、感染対策は必要に応じて自身で実施する事が基本となりました。
- ◆この夏感染者が増加し、『第11波』と発表されました。



今年は例年の流行時期とは異なる時期に、様々な感染症が流行しています。基本的な感染対策は、十分な手洗い・うがい・状況に応じたマスクの使用等、コロナ禍で習慣となったものばかりです。コロナが5類となって、手洗いが疎かになっている方もいるのではないのでしょうか。改めて感染対策を見直してみてください。

今月のひとこと



南海トラフ地震臨時情報が出てから、地震への備えなどについてよくニュースで取り上げられるようになりました。私自身、猛暑日や豪雨の日には、「今日地震がきたらどうするんだろう」と考えるようになりました。皆さんはお家での対策は進んでいますか？いつ発生しても慌てないように、日頃から準備をしておきましょう。

*必ず定期受診をお願いします。
未受診が続く場合は治療継続が困難となり、機械を回収させていただく場合があります。

発行：渥美病院
文責：小川 生理検査室